

# 地元貢献のための創業融資支援

創業C社

(福島県)

創業者は、東日本大震災による事業縮小、県外移転を余儀なくされた企業を退職し、地元いわき市にて、地域復興を目指して創業を決意。

## 1. 相談のきっかけ

・創業者は、必要設備の購入資金および運転資金の調達方法を含めた事業計画全般について問題を抱えていた。  
・資金調達方法として当初は補助金を検討していた。補助金の詳細を知るために知人へ相談し、よろず支援拠点を紹介された。

## 2. 課題整理・分析

補助金は利用せず、金融機関からの融資調達を目指した。融資調達の場合、信用力が課題となる。

＜課題＞

- ・事業経営未経験
- ・自己資金少額
- ・担保物件の不保持

## 3. 解決策の提案

信用力に課題があるなか金融機関の融資審査をクリアするためには、確実な事業計画を示す事が必要となる。事業計画作成のいろはを一から支援した。



## 4. 成果

- ・ 事業計画書全体の策定支援
- ・ 企業概要、企業理念、事業概要、事業戦略(市場性、競合、差別化、ターゲット、販売チャネル等)の検討および作成支援
- ・ 年次収支計画、月次収支計画、資金繰計画、資金計画、返済計画の作成指導
- ・ 対金融機関の折衝方法について支援

上記支援により、当依頼人の信用力についての課題(事業経営未経験、自己資金少額、担保物件不保持)があるなか、民間金融機関から融資を受けられる見込(金融機関からは当事業計画書について高い評価を受けた)